

# 梅之木通信

## 【縄文住居をつくる会】

第17号 2020. 7. 26 発行

### ついに 縄文住居完成！

コロナ感染防止による活動自粛から作業が再開されたと思ったら、今度は雨続きでなかなか作業が進まず完成できるかどうか心配しましたが、一年以上かかったプロジェクトもやっと完成の日を迎えました。石斧の刃にする原石採取から始まり、フジヅル採り、石斧を使つての伐採、鹿の角での竪穴掘りなどなど、始めて体験する事ばかりで、どうやったら良いのか正解が見えず苦労も多々ありましたが、一つ一つクリアする毎に新たな発見があり、『そうなのか』と感心することばかり。今にして思えば楽しい経験をいっぱいさせてもらったように思います。

『大人の遊びをしよう』と始まった会ですが、『これじゃダメか』『こうしたらどうか』経験豊富なメンバーが知識を絞りだし検討を重ね試行錯誤しながらも、その中にはいつも笑いがあり、疲れを忘れてしまう事もしばしば。

一から縄文住居をつくるなんて、こんな機会はありませんが、貴重な体験でした。

八合目まで土をかぶった富士山みたいで  
なかなか格好良いと思いますが・・・



#### ◆ 住居内部の様子

外から見ると小さな住居に見えますが、中に入ると結構広く感じます。入口の反対側に窓をあけたおかげで風通しが良くなり密閉空間ではありませんが、今の時期やはり密接には十分注意したいと思います。



#### ◆ 窓開け効果

囲炉裏に火を燃やし、何度も何度も煙の流れを試して入口の反対側に窓を開けたところ、天井口からきれいに煙が流れるようになりました。

小さな窓ですが思いのほか効果があります。

縄文の人も、同じような事を考えたでしょうか？  
もっと、良い工夫があったかもしれませんね。



#### ◆ 三号棟のつぎは四号棟

完成の余韻に浸っている間もなく、7本柱の四号棟がすでにスタンバイして待っています。市民ボランティアによる同時進行のはずでしたが未完成のまま。四号棟建設はまたしてもは市民ボランティアよりもふるさと倶楽部頼みのようです。

一度縄文住居建設を経験した皆さんは、もっと簡単で楽な工法を見いだせるかもしれません。また次なるチャレンジを始めましょう。



#### ◆ 縄文住居完成式

祭り好きなメンバーは、事あるごとに縄文パーティーを企画します。今回も住居の完成を祝って完成式を下記の通り開催しますので、作業に参加していただいた方はもとより、作業に参加できなかった人も迷うことなく、大手を振ってご参加ください。おおぜいで新居の完成を祝いしたいと思います。

日時：8月8日（土曜日）11:00～〈予備日：8月9日（日曜日）〉

場所：梅之木遺跡（仮称：ふるさと倶楽部縄文ハウス）

参加資格：ふるさと倶楽部会員、およびお知り合いもお連れ下さい（お孫さんも大歓迎）

参加費：調整中（飲み物は各自持参下さい。飲酒した場合は縄文ハウスでの仮眠も可）

**※ 材料の準備の都合上、7月31日までに参加人数を世話人までお知らせください。**